

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分  
 【発行日】平成 29 年 7 月 13 日 (2017.7.13)

【公開番号】特開 2015-229549 (P2015-229549A)  
 【公開日】平成 27 年 12 月 21 日 (2015.12.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-080  
 【出願番号】特願 2014-115786 (P2014-115786)  
 【国際特許分類】

B 6 5 H 31/26 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 31/26

H 0 4 N 1/00 1 0 8 Q

【手続補正書】  
 【提出日】平成 29 年 5 月 29 日 (2017.5.29)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

シートを排出する排出手段と、  
 前記排出手段によって排出されたシートが積載される積載手段と、  
前記排出手段によって前記積載手段へ排出されるシートを前記積載手段に押さえる押さえ部と、前記積載手段のシート積載方向に対して前記押さえ部を回動可能とする基部と、前記基部に対して前記押さえ部を少なくとも前記押さえ部の回動方向と交差する方向に揺動可能とするように前記押さえ部と前記基部との間に設けられた節部と、を有するシート押さえ手段と、を備える、  
 ことを特徴とする排出シート積載装置。

【請求項 2】

前記節部は、前記シート積載方向の寸法が、前記押さえ部が揺動する揺動方向の寸法よりも大きい、  
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の排出シート積載装置。

【請求項 3】

前記押さえ部は、前記排出手段によって排出されるシートに接触する接触部と、前記接触部に対して切り離し可能に設けられ、切り離されることで前記押さえ部の自重を軽くする自重軽減部とを有している、  
 ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の排出シート積載装置。

【請求項 4】

前記自重軽減部は、前記排出手段から排出されるシートに当接しない位置に設けられている、  
 ことを特徴とする請求項 3 に記載の排出シート積載装置。

【請求項 5】

前記押さえ手段は、熱可塑性エラストマー特性を有した材料で形成されている、  
 ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の排出シート積載装置。

【請求項 6】

原稿の画像を読み取る画像読取部と、

前記画像読取部に原稿を搬送する原稿搬送部と、を備え、

前記原稿搬送部は、前記画像読取部に搬送して排出された原稿が積載される請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の排出シート積載装置を有している、

ことを特徴とする画像読取装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の画像読取装置と、

前記画像読取装置によって読み取られた画像をシートに形成する画像形成部と、を備えた、

ことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 8】

シートに画像を形成する画像形成手段と、

前記画像形成手段にて画像が形成されたシート排出する請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の排出シート積載装置と、を備えた、

ことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかし、従来の排出シート積載装置の押さえ部材は容易に変形可能な材質で構成されており、排出されたシートをユーザが取り出すとき、ユーザの手が押さえ部材に触れて、原稿押さえ部材が変形するおそれがあった。このため、押さえ部材が原稿を確実に押さえることができなくなり、シートの積載状態が悪くなるという問題があった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の目的は、シートを押さえる押さえ部材の変形を防止する排出シート積載装置と、この排出シート積載装置を備えた画像読取装置と、この画像読取装置を装置本体に備えた画像形成装置とを提供することにある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の排出シート積載装置、画像読取装置及び画像形成装置は、シートを排出する排出手段と、前記排出手段によって排出されたシートが積載される積載手段と、前記排出手段によって前記積載手段へ排出されるシートを前記積載手段に押さえる押さえ部と、前記積載手段のシート積載方向に対して前記押さえ部を回動可能とする基部と、前記基部に対して前記押さえ部を少なくとも前記押さえ部の回動方向と交差する方向に揺動可能とするように前記押さえ部と前記基部との間に設けられた節部と、を有するシート押さえ手段と、を備える、ことを特徴としている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【０００８】

本発明の排出シート積載装置、画像読取装置及び画像形成装置は、押さえ部材の変形を防止することができる。

## 【手続補正６】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】００２８

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【００２８】

そこで、本実施形態の排出原稿積載装置１０５の原稿押さえ部材１０は、基部１１と押さえ部１８とを弾性変形可能な節部１７で接続して、原稿押さえ部材１０の先端部の押さえ部１８に、ユーザの手が干渉しても、押さえ部１８が逃げるようにしてある。節部１７は、基部１１の傾動方向Ｊ（シート積載方向）の寸法Ｌ１の方が、基部１１の傾動方向Ｊに対して交差する方向Ｋ（揺動方向）の寸法Ｌ２よりも大きく（ $L1 > L2$ ）設定されている。このため、図３において、節部１７は、排出原稿積載トレイ８の原稿積載面８ａに沿った方向Ｋに弾性変形可能にしてあり、ユーザの手が押さえ部１８に干渉しても、押さえ部１８を逃がして、原稿押さえ部材１０の損傷を防止することができる。また、原稿押さえ部材１０は、節部１７が $L1 > L2$ の関係によって原稿積載面８ａに対して交差する方向Ｊに弾性変形しにくくなっているため、自重を有効に利用して、原稿を排出原稿積載トレイ８に押さえることができる。